

地図と測量のコンテンツにふれてみよう！  
 「ハザードマップポータルサイト」編 第2回 ～防災情報を重ねてみよう～



博士、前はウェブ上でハザードマップが確認できる、『ハザードマップポータルサイト』を紹介してくれたよね。



うむ。今回はその中でも『重ねるハザードマップ』を使って、防災に役立つ情報を“重ねて”みよう。



洪水や土砂災害などの自然災害によって予想される被害がわかるんだっけ？



そうじゃ。他にも、例えば災害が起こったときの避難場所もわかるんじゃないよ。



避難場所っていうと……学校や市役所のことだよな！



ケンタ君、よく知っておるな！  
 じゃが、災害の種類によって避難場所が変わることもあるんじゃないよ。



洪水や津波であれば、2階や3階など上の階に避難できる頑丈な建物、地震や火災であれば、危険が及ばない大きな広場というように私たちが住んでいるまちでは、あらかじめ避難場所を決めているんじゃないよ。これを「指定緊急避難場所」というんじゃないよ。

[広報誌](#) > [ことばのミニ辞典](#) > 第29回 [「指定緊急避難場所」](#)



確かに災害によって、どんな場所が安全なのかは変わるよね。  
 それじゃあ、『重ねるハザードマップ』をどんなふうにするのが実際に使ってみせてよ！



うむ！  
 今回は例として、広島市（広島市役所周辺）の洪水に関する情報を調べてみよう。



調べ方にはいくつかあるんじゃないよが、見たい地域が分かっているときには  
 ①[場所を入力]欄で「広島市役所」と検索じゃ！

**重ねるハザードマップ**  
 ～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

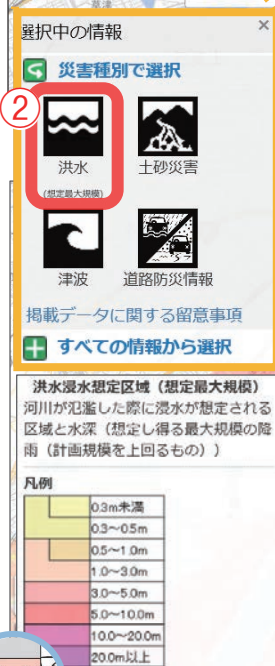
洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

① 場所を入力  
 例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院


表示する情報を選ぶ


過去の代表的な災害事例をみる



③ [指定避難場所]-[洪水]を選択すれば、先ほど説明した、「指定緊急避難場所」がある場所もわかるんじゃよ。



確かに、のマークは色のついた「浸水想定区域」からは外れているね。少しずつ、使い方がわかってきた気がするよ！



今回の内容は、YouTubeの国土地理院チャンネルでも紹介しているんじゃ。お住まいの地域の防災情報について、この機会にぜひチェックしてほしいのう！

- ・ [ハザードマップポータルサイト](#) > [使い方](#)
- ・ [身の回りの災害危険性の確認](#)

01 身の回りの災害危険性の確認



ハザードマップポータルサイトを  
使ってみよう

国土地理院

自然災害リスクを表示させ、知りたい地点のリスク情報をまとめて調べましょう。